

ISS・きぼうウィークリーニュース

International Space Station (ISS) / Japanese Experiment Module "Kibo"

WEEKLY NEWS: Vol. 443



(左)「きぼう」ロボットアーム制御ラックで作業する(左から)古川、ギャレン両宇宙飛行士
(右上) 船外活動を行うヴォルコフ宇宙飛行士 (右下) ロシアの船外活動で使用するカメラの準備を行う古川宇宙飛行士 (すべて出典: JAXA/NASA)

今週のISSと古川宇宙飛行士



最初のISS構成要素打上げから**4645**日経過

古川宇宙飛行士は「きぼう」ロボットアームの子アームの機能確認などを実施

古川宇宙飛行士ら国際宇宙ステーション (ISS) の第 28 次長期滞在クルーは、ロシアの船外活動や ISS 船内の物資の整理作業などのほか、「きぼう」日本実験棟のロボットアームの子アーム (SFA) の定期点検に多くの時間を費やしました。

8 月 1 日、古川宇宙飛行士はギャレン宇宙飛行士とともに SFA の定期点検に向けた準備作業を行い、8 月 2 日および 8 月 4 日から 5 日にかけて、ロボットアームにより SFA を「きぼう」船外実験プラットフォーム上の子アーム保管装置 (SSE) から取り出す動作の確認などを実施しました。確認終了後、SFA を SSE に結合し、

ロボットアームを通常の位置に戻して、SFA の定期点検を完了しました。

古川宇宙飛行士は Twitter にて、「仲間のロンと協力してロボットアームを操作。写真ではカメラの方を向いていますが、操作時はカメラの映像などをモニターして、衝突しないよう注意深く作業します」と SFA の定期点検についてツイートしています。

そのほか、8 月 3 日から 4 日にかけて、サマクチャイエフ、ヴォルコフ両宇宙飛行士によるロシアの船外活動が実施され、「ズヴェズダ」(ロシアのサービスモジュール) 外部に新しい材料曝露実験装置と地上

との光通信用機器を設置する作業などが行われました。古川宇宙飛行士は、船外活動で使用するカメラの準備などの支援作業を行いました。

■ Expedition 28 Crew

ISS 滞在 125 日経過

アンドレイ・ボリシェンコ (コマンダー、ロシア)
アレクサンダー・サマクチャイエフ (ロシア)
ロナルド・ギャレン (NASA)

ISS 滞在 60 日経過

マイケル・フォッサム (NASA)
古川聡 (JAXA)
セルゲイ・ヴォルコフ (ロシア)

Website info

古川宇宙飛行士 ISS 長期滞在ページ

http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/furukawa/

古川宇宙飛行士 Twitter で最新情報をチェック!

http://twitter.com/Astro_Satoshi

今週のきぼう



船内実験室運用開始から**1160**日経過

「きぼう」で発生した ICS への給電停止について原因究明作業を継続

「きぼう」日本実験棟では、8 月 1 日に発生した電力システムの異常により衛星間通信システム (ICS) への給電が停止しており、原因究明作業を進めています。なお、

本異常によるクルーの安全性とシステム運用への影響はありません。

そのほか、8 月 6 日には細胞実験ラックのクリーンベンチ (CB) の定期点検を行

いました。

Website info

ICS への給電停止について

<http://iss.jaxa.jp/topics/2011/08/topics20110804.html>

若田宇宙飛行士にロシアより有人宇宙開発への貢献を称えるメダルが授与

8月2日、ロシア大使館にて、ロシアの駐日大使より若田宇宙飛行士に、有人宇宙開発における国際協力発展への貢献を称えるメダルが授与されました。

このメダルは、ロシア(旧ソ連)のユーリ・ガガーリン宇宙飛行士による人類初の宇宙飛行から50周年を記念して、有人

宇宙開発に貢献した約60名の外国人宇宙飛行士に対し授与されるもので、JAXA宇宙飛行士からは若田、野口両宇宙飛行士が受賞しました。若田宇宙飛行士は4月12日にロシアで行われた受賞式典に参加できなかったため、今回、ロシア大使館にてメダルの授与を受けました。

なお、日本人として初めて宇宙に行った秋山豊寛氏も若田宇宙飛行士とともにメダルの授与を受けました。

Website info

JAXA 宇宙飛行士、ガガーリン50周年式典にてメダル授与

http://iss.jaxa.jp/topics/2011/04/gagarin_50th.html

回収機能付加型 HTV (HTV-R) の研究に関するコンテンツを公開

JAXAでは宇宙ステーション補給機「こうのとり」(HTV)への回収機能の付加について研究を行っています。

回収機能付加型 HTV (HTV-R) は、「こうのとり」を最大限に活用・発展させることにより、将来の我が国の有人宇宙活動に不可欠な技術である安全確実な帰還・回収技術を実証・確立することと、国際宇宙ステーション(ISS)の利用成果や軌道上機器の地上回収を行うことを大きな目標としています。HTV-Rの詳細について

ではホームページをご覧ください。

JAXAは、2010年代半ばの打上げを目指してHTV-Rの概念検討を進めています。2010年度は、HTV-Rのミッションを定義するとともに、将来の有人機形態に近い形状を、ミッション達成に最も適しているとして選定しました。2011年度はこの回収機形状をベースとした風洞試験などを実施するとともに、研究段階から開発準備段階への移行を承認するJAXA内審査に向けた作業を行う予定です。



HTV-Rの飛行イメージ(出典: JAXA)

Website info

回収機能付加型 HTV(HTV-R)
<http://iss.jaxa.jp/htv-r/>

8月14日(日)開催 宇宙連詩〜第4期完成披露シンポジウム参加者募集

東日本大震災に伴い延期した宇宙連詩の第4期完成披露シンポジウムを、8月14日(日)午前10時30分から、東京都千代田区の丸の内オアゾにて開催します。

シンポジウムでは宇宙連詩の朗読、寄稿者・公募選定者による振り返りなどを行います。参加申し込み方法についてはホームページをご覧ください。多くの皆

様のご参加をお待ちしています。

Website info

宇宙連詩
<http://www7.jsforum.or.jp/>

more information

- ▶ 「きぼう」日本実験棟船内実験室第2期利用テーマの追加募集(8月31日(水)まで)
<http://kibo.jaxa.jp/experiment/application/pm201107application.html>
今回の募集は、これまでの約3年間にわたる「きぼう」の実運用経験を踏まえ、実験と実験の間に生じる「小規模な実験機会」を最大限活用することを目的としています。チャレンジングなテーマのご応募をお待ちしています。実験の実施時期や応募要領などについてはホームページをご覧ください。
- ▶ 筑波宇宙センターにて「夏のダブル企画」「だいち」パネル展とサマーラボ開催中(8月31日(水)まで)
http://www.jaxa.jp/visit/tsukuba/topics_j.html
筑波宇宙センターの展示施設「プラネットキューブ」では、「夏のダブル企画」として地球観測衛星「だいち」のパネル展と、宇宙に関する工作や実験教室、ミニ講演などに参加できるサマーラボを開催しています。夏休みの自由研究や工作にいかがでしょうか。多くの皆様のご来場をお待ちしています。
- ▶ 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センターからアンケートご協力をお願い(8月31日(水)まで)
http://iss.jaxa.jp/questionnaire_110802.php
情報の充実とより分かりやすい発信のため、ホームページに対する皆様のご意見をお聞かせください。ご協力よろしくをお願いいたします。

ISS・きぼうウィークリーニュース 第443号

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター
ホームページ <http://iss.jaxa.jp/> Eメール kibo-pao@jaxa.jp
ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.jaxa.jp/weekly/>

※特に断りのない限り日付は日本時間です。

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。